

♣ 扉 F A L A S T I N I 小畑美史 1
 ♥ まなぶということ 大野和興 2
 ♠ 詩 メール 太田章子 4



特集

私とつづくとつづくと賃金と

「同一労働同一賃金」から見える働く者の課題 …… 平地一郎 6
 賃金と雇用を守るために団結し闘う労働者たち …… 浦田 誠 11
 賃金と雇用 私たちができること …… 西村健司 14
 生き物としての未来が保障される賃金を …… 田中克之 16
 疑問のなかった私が大切さを実感したこと …… 丸山香苗 18
 賃金や労働条件を見つめる機会をつくりたい …… 田原 敦 20
 いま、なにが必要かを考えつづけます …… 高橋沙耶香 22
 スポーツ・余暇・賞金・賃金 …… 内海和雄 24
 賃金問題の解決はかる中国 …… 吉田陽介 27

職場の法律相談

長期休暇を取りたいが、
 できるだろうか …… 永田真衣子 31

国家と教育 21 教科書検定の現在地

…… 森口千弘 34

日本のうしろ 世界のうしろ

与党大敗の総選挙
 どのような審判が下されたのか …… 横田昌三 52

同性婚をめぐる違憲判決 …… 齊藤小百合

誌上学習会 『共産党宣言』 4 ブルジョアとプロレタリア 3 …… 60

◆ キャラバンサライ 38
 ◆ スポーツ時評 40
 ◆ 世界はいま 42
 ◆ 経済を知ろう！ 44
 ◆ 数字を疑え！ 46
 ◆ 中国観看 48

◆ 働くものと健康 50
 ◆ 情報BOX 64
 ◆ 北から南から 65
 ◆ センターと みなさんをつなぐ 68

カット＝野崎安希子

まなぶということ

労賃と農産物価格

大野 和興

おコメの値段が高止まりしています。この夏、いきなりスーパーからコメが消えるという事態が勃発、令和の米騒動と騒ぎになりました。所管の農水省は、「なあに、9月も中旬になれば新米が出回りますから一時的なことですよ」といつていました。その言葉通り、新米に時期が来たらコメは店頭に戻ってきたのですが、値段は上昇をつづけ、高止まりという事になってしまっています。

生産者側から見れば、この30年、生産者が受け取る手取り米価は下がる一方でした。1993年にガットのウルグアイラウンドでコメの一部輸入自由化が実施され、95年にグローバリゼーションを推進する国際機関WTO（世界貿易機関）が発足。それに合わせて国内では生産者米価、消費者米価に公的な支えをしていた食糧管理法が廃止されました。両米価とも、価格決定は市場にゆだねられる体制に移行したのです。

その後、生産者米価は下降をつづけ、90年代後半には60キロ（玄米）で1万8千円くらいから、産地銘柄によっては2万円代にまでなっていたものが、1万円そこそこと半値になって迎えたのが、今回の「令和のコメ騒動」でした。

すでにお気づきになったことと思います。労働者の失われた30年と低米価はびつたり重なり合っています。この30年、実質労賃は下がりつづけ、非正規さらには労働者でもない浮遊する労働力が激増してきました。そんな彼らにも、尊厳をもって生きていくための生命を再生産する食料が必要です。とくに基本食料のコメは安くなければならない。でないとなんて非正規、フリーランスと呼ばれる低所得者には買うことができません。

まさに、低賃金低農産物価格の古典的命題が見事に貫徹された30年でした。ならば、こちらも古典的命題に戻って、労働同盟の旗を掲げて、農民には所得と生産費を補償し、消費者・生活者にはゆゆうと食える消費者価格を補償する二重価格の実現を迫るべきときでしょう。

（農業記者）